



栃木県公共事業事後評価 事後評価書

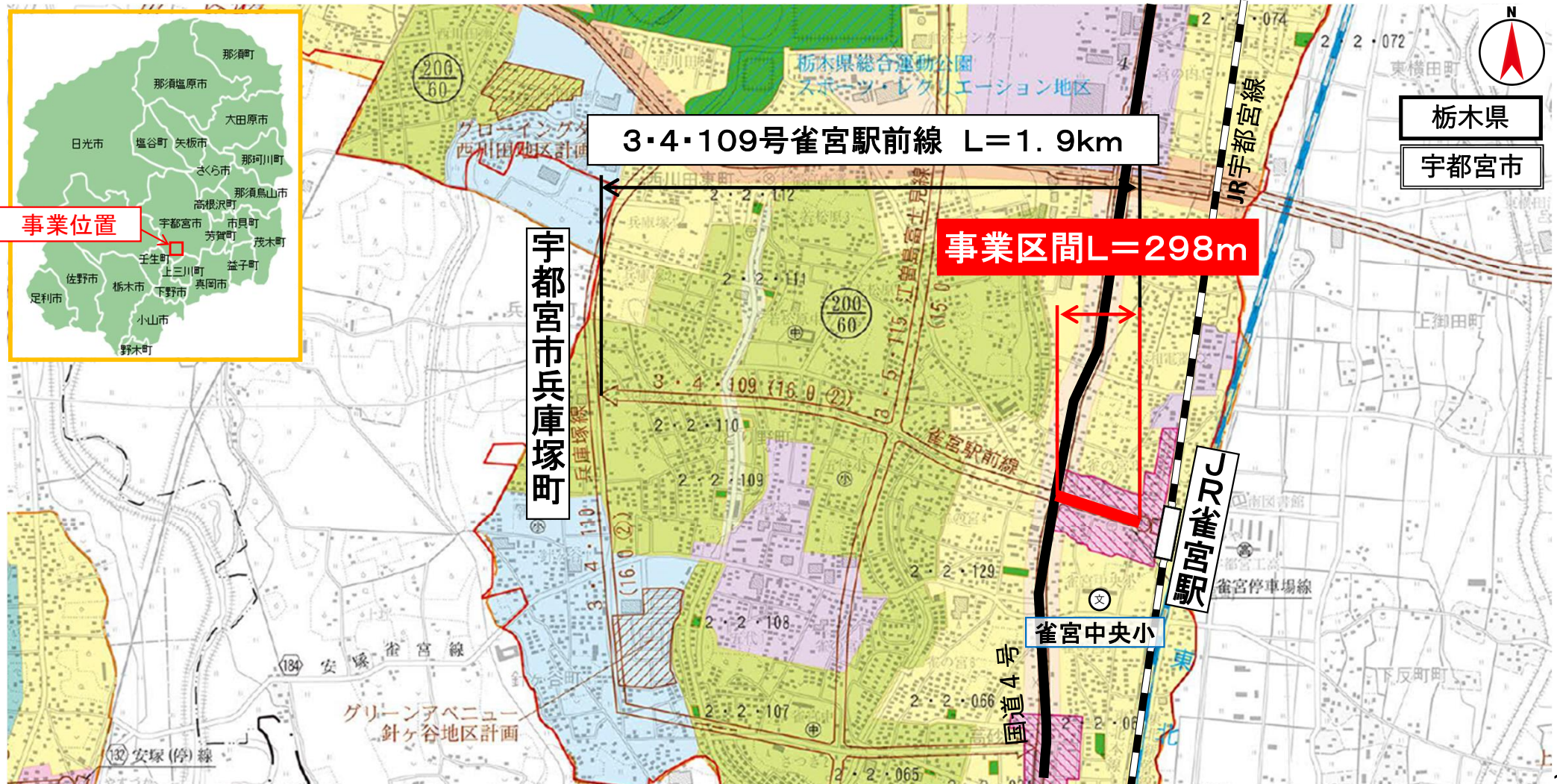
【県土整備部 街路事業】

事業名	街路づくり事業
事業箇所	宇都宮都市計画道路 3・4・109号 <small>すずめのみやえきまえ</small> 雀宮駅前線 <small>すずめのみや</small> 雀の宮工区 宇都宮市雀の宮1丁目～3丁目 L = 298m
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 都市整備課

I 事業の概要

【箇所の概要】

- 本都市計画道路は、JR宇都宮線雀宮駅西口駅前広場を起点とし、国道4号を経て宇都宮市南西部の兵庫塚町に至る都市の骨格を形成する幹線道路
- 事業箇所は、雀宮駅駅前広場から国道4号までの298mの区間
- 沿線には商店や飲食店が建ち並び、近隣には、雀宮中央小学校も立地するため、鉄道利用者や買い物客、通学児童など歩行者自転車及び自動車の交通量が多い



I 事業の概要

【箇所の概要】

- ・ 雀宮中央小学校の通学路であるものの、狹隘で歩道が未整備であり、車両と歩行者が混在し、通学する児童等が危険な状況であった
- ・ 道路敷地内に立ち並ぶ電柱は、歩行者・自転車の通行の妨げとなっていたほか、災害発生時には、電柱の倒壊による交通障害等が発生するおそれもあった
- ・ 同地域では、国※1・市※2による雀宮駅周辺の整備が進められており、接続する県道も同時期に整備を進める必要があった

※1 : 国道4号 雀宮（駅北）・雀宮駅前歩道整備事業

※2 : JR雀宮駅前広場整備事業

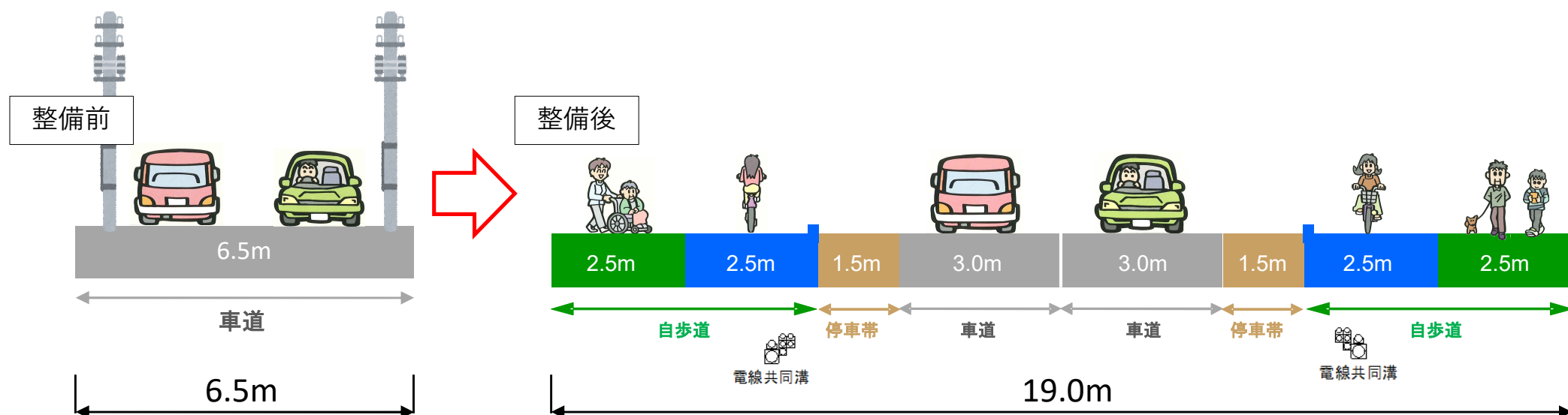
【事業の目的・必要性】

- (1) 駅へのアクセス機能強化・交通の円滑化
- (2) 安全で快適な自転車・歩行者通行空間の確保
- (3) 都市景観の向上と都市防災機能の強化
- (4) 沿道の生活環境を改善

I 事業の概要

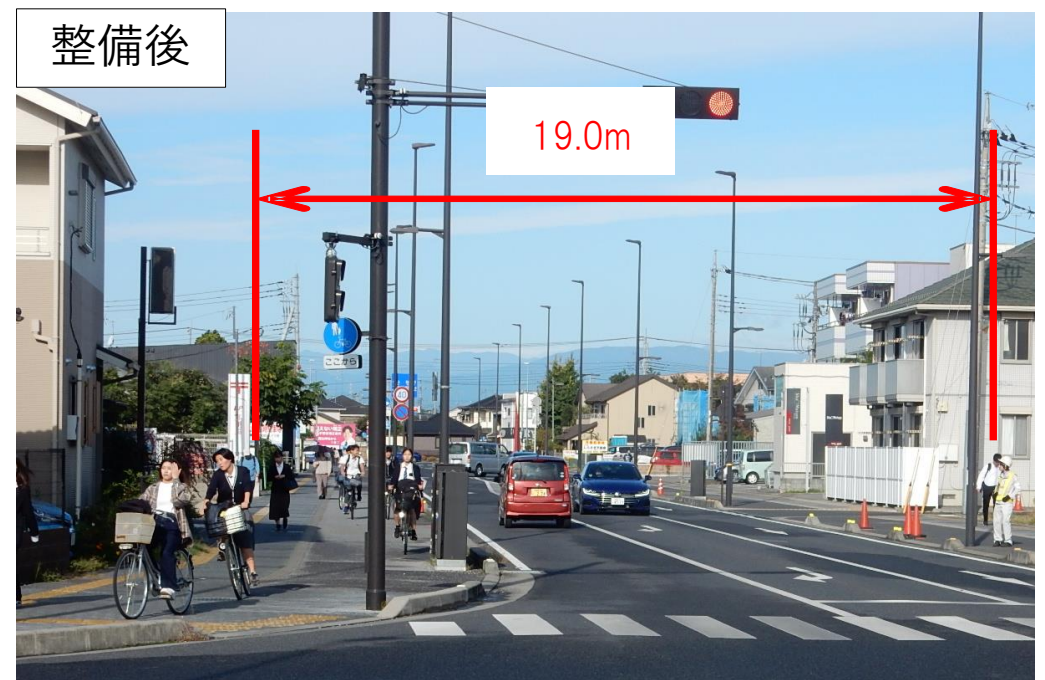
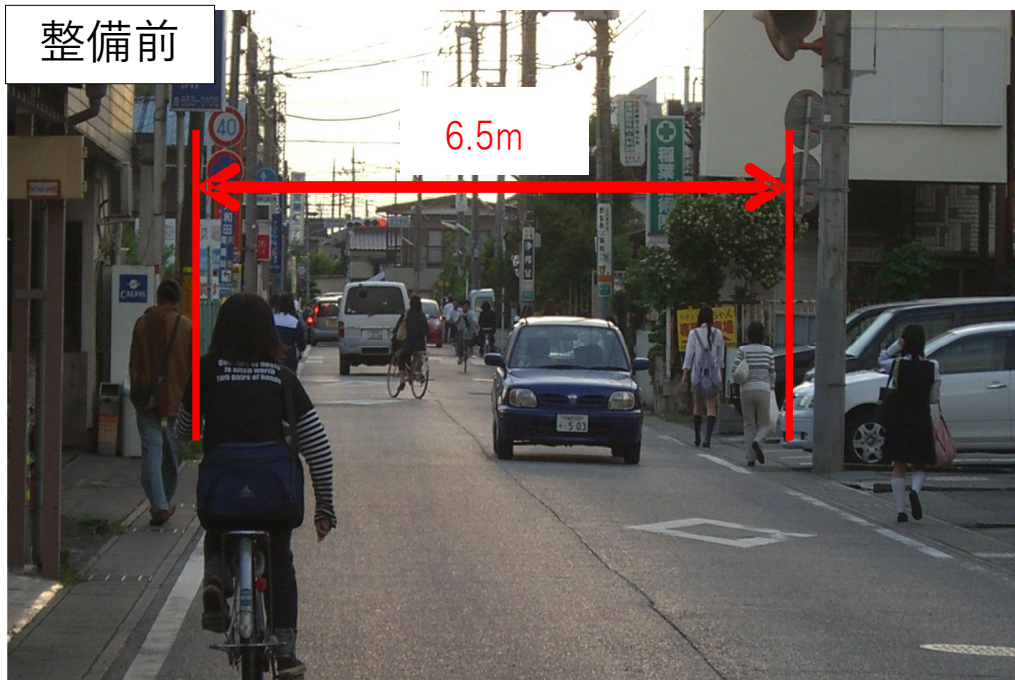
【事業内容】

- ① 総事業費 : 約 17 億円
- ② 事業期間 : 平成 23 年度～平成 31 年度
- ③ 総延長 : 298 m
- ④ 計画交通量 : 6,500 台/日
- ⑤ 道路区分 : 第 4 種第 2 級
- ⑥ 車線数 : 2 車線
- ⑦ 標準幅員 : 19.0 m (車道 6.0 m、停車帯 1.5 m × 2、自歩道 10.0 m (5.0 m × 2))



I 事業の概要

【事業内容】



Ⅱ 事業の整備効果等

効果検証方法

- 本事業の整備効果を検証するため、以下の調査を実施

(1) 交通量調査

日 時：令和5年10月11日（水） 7：00～19：00

調査内容：交通量調査、渋滞長調査

(2) アンケート調査

実施時期：令和5年10月

調査対象：周辺の地域住民や公共施設、学校、地域企業等

(回答数529枚 / 配布数855枚 → 回収率61.9%)

調査項目

- ① 道路拡幅による混雑改善、駅周辺のアクセス改善
- ② 徒歩や自転車通行時の安心感
- ③ 電線地中化による街並み景観の改善
- ④ 大規模災害発災時の防災機能の強化
- ⑤ 買い物や通勤通学等の日常生活の利便性、仕事の業務効率の向上
- ⑥ 騒音や振動の抑制、沿道の環境改善

Ⅱ 事業の整備効果等

(1) 駅へのアクセス機能強化・交通の円滑化

- 交通量調査の結果、自動車交通量が1.5倍、歩行者・自転車交通量が2.8倍となった。（雀宮駅乗降客数は1.4倍）
- アンケート「①道路拡幅による混雑改善、駅周辺のアクセス改善」において、約8割の利用者が、駅にアクセスしやすくなったと回答。

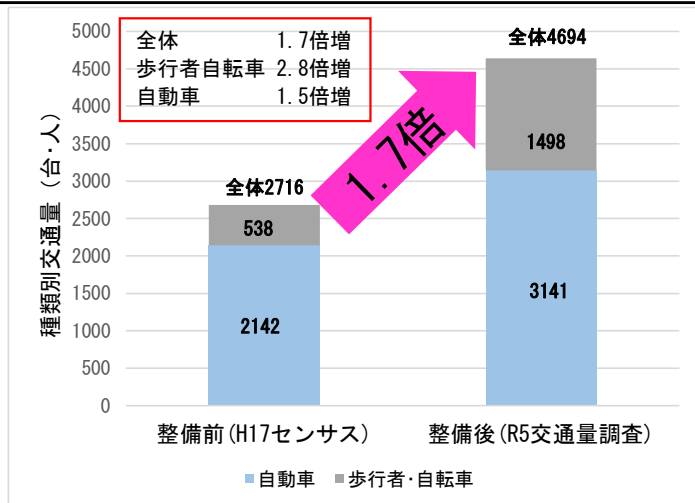


図1. 整備後の交通量推移

(出典：H27年度、R5年度道路交通調査)

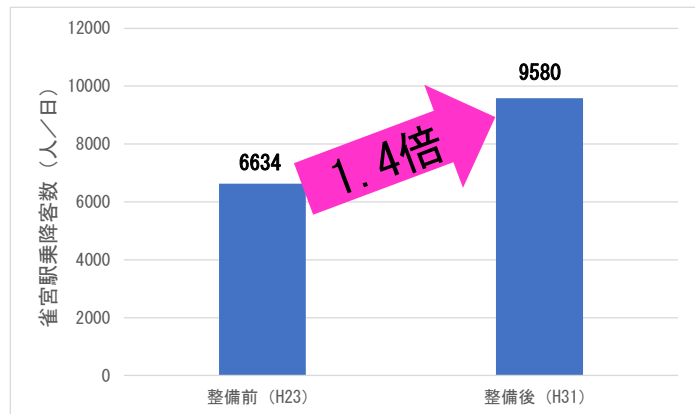
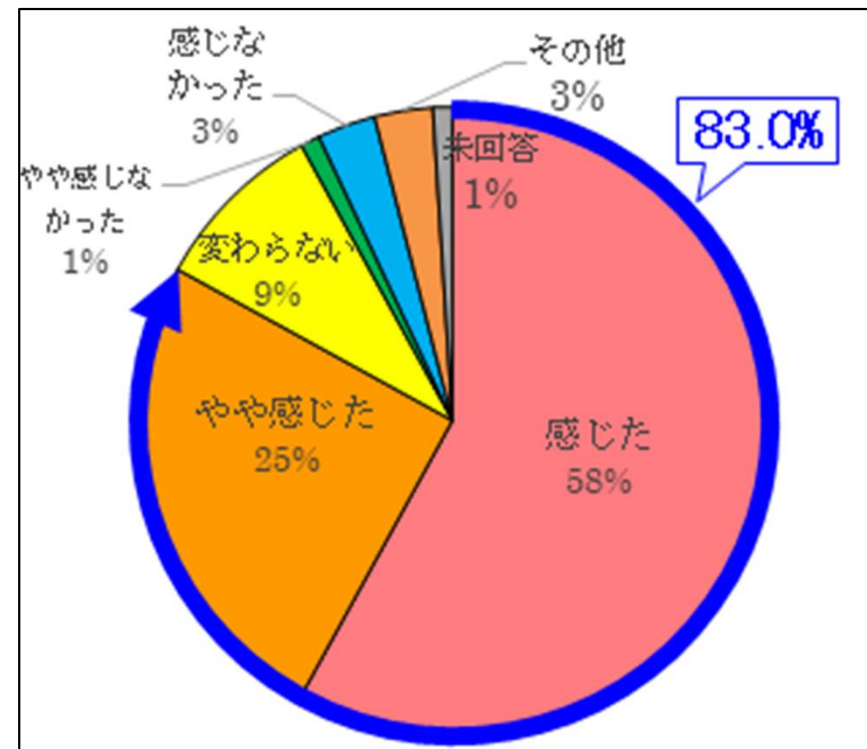


図2. 雀宮駅別乗降客数データ

(出典：R4年度 国土交通省国土政策局)

利用者アンケート結果 ①「道路拡幅による混雑改善、駅周辺のアクセス改善」



Ⅱ 事業の整備効果等

(2) 安全で快適な自転車・歩行者通行空間の確保

- 現道拡幅・歩道設置により、安全な歩行者・自転車通行空間が確保されたため、交通事故件数が約63%（年間）減少した。
- アンケート「②徒歩や自転車通行時の安心感」において、約8割の利用者が、徒歩や自転車での通行時、安心感が向上したと回答。
- 歩道と車道の段差を解消し、視覚障害者誘導ブロックを整備したことで、全ての利用者が安全に通行できる空間が整備された。

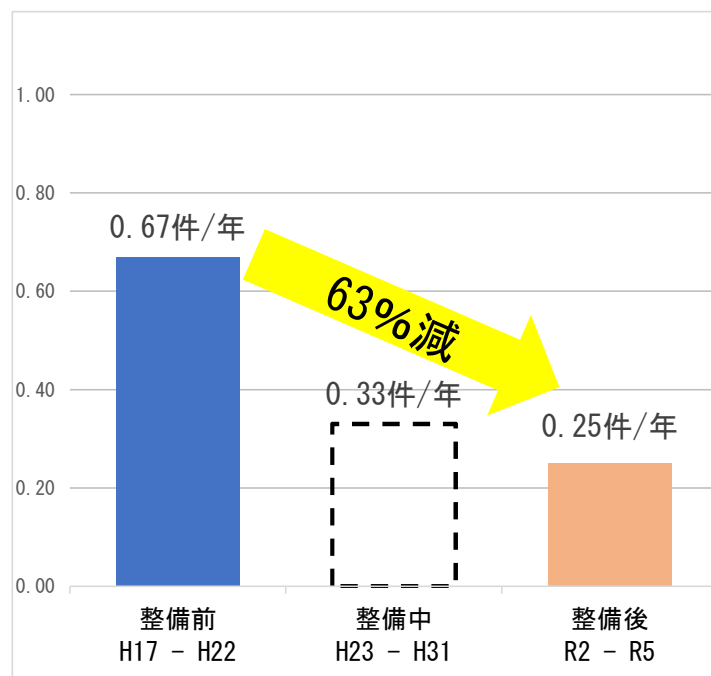
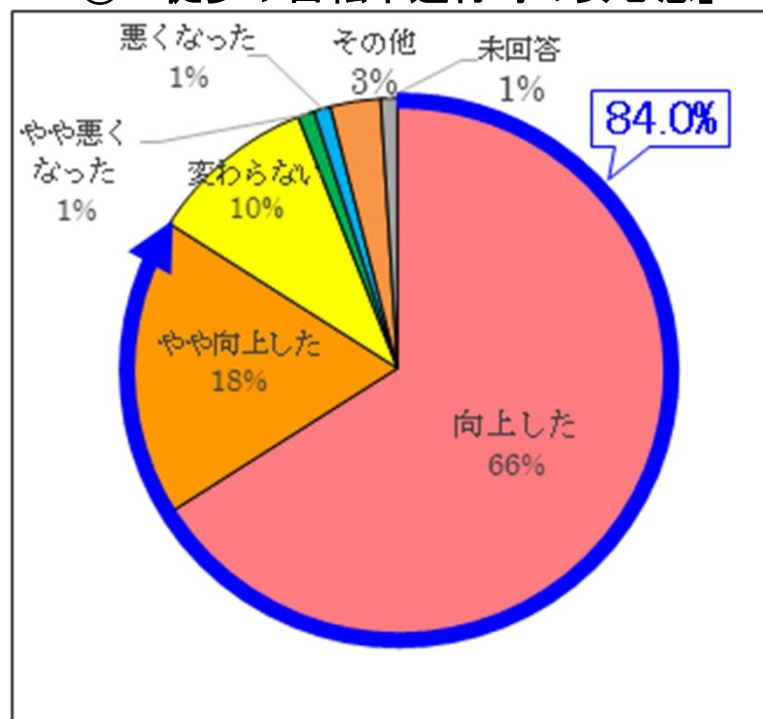


図3. 整備後の事故件数推移

(出典：交通事故実態調査、栃木県警HP)

利用者アンケート結果 ②「徒歩や自転車通行時の安心感」



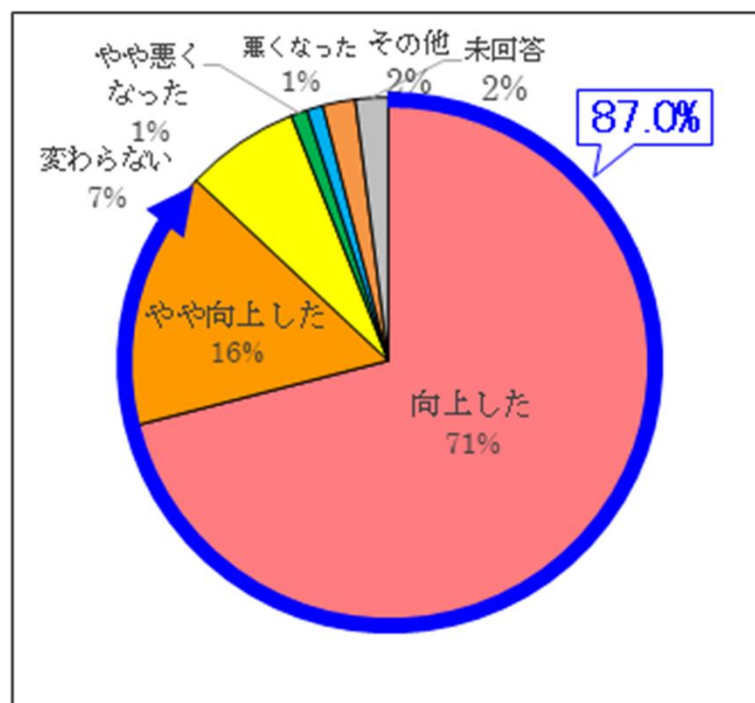
Ⅱ 事業の整備効果等

(3) 都市景観の向上と都市防災機能の強化

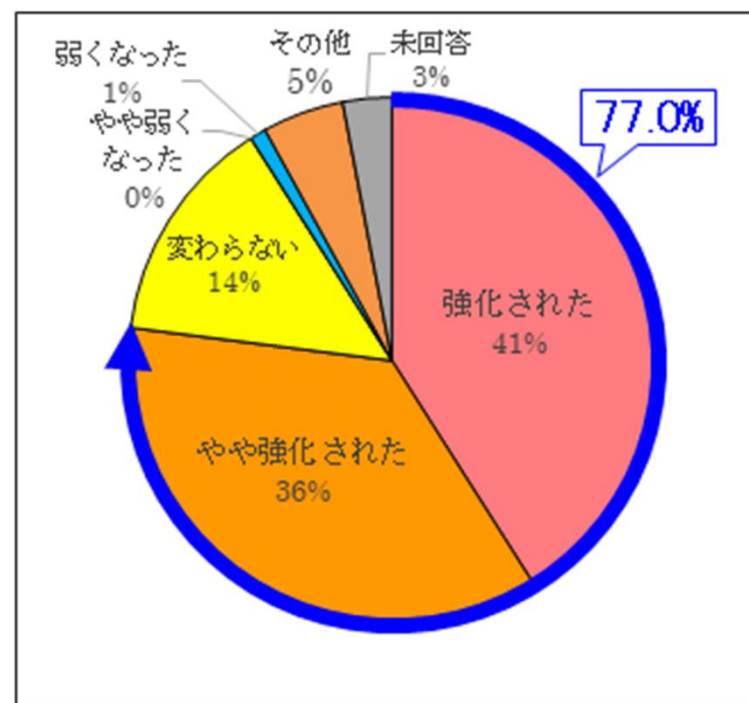
- 電線類の地中化等により、都市防災機能の強化が図られた。
- アンケート「③電線類地中化による街並み景観の改善」において、約9割の利用者が、電柱が地中化したことにより街並景観が向上したと回答。
- アンケート「④大規模災害発災時の防災機能の強化」において、約8割の利用者が、防災機能が強化されたと感じると回答。
- 消防署へのヒアリングにおいて、円滑な通行空間の確保により、緊急車両の現場到着時間の短縮について、確認することができた。

利用者アンケート結果

③ 「電線類地中化による街並み景観の改善」



④ 「大規模災害発災時の防災機能の強化」



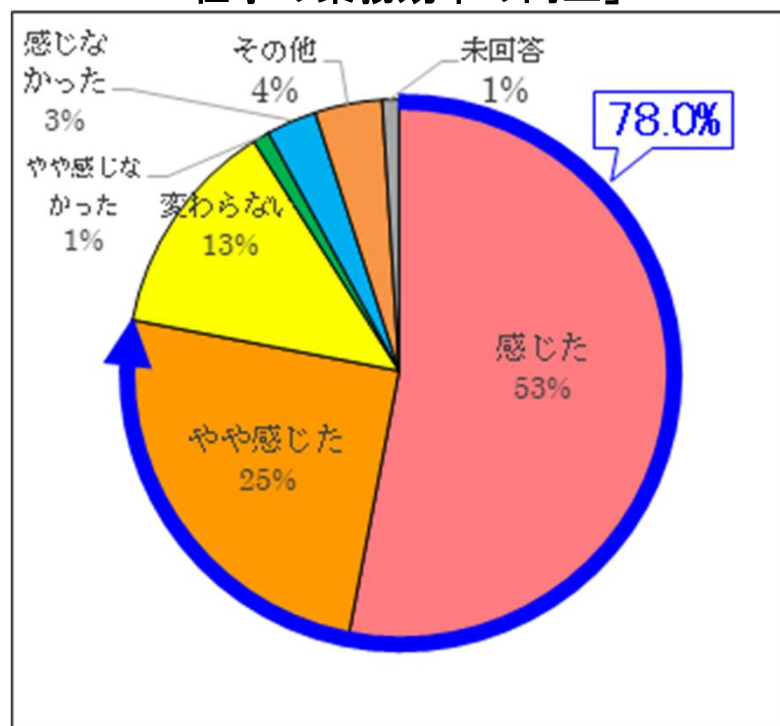
Ⅱ 事業の整備効果等

(4) 沿道の生活環境を改善

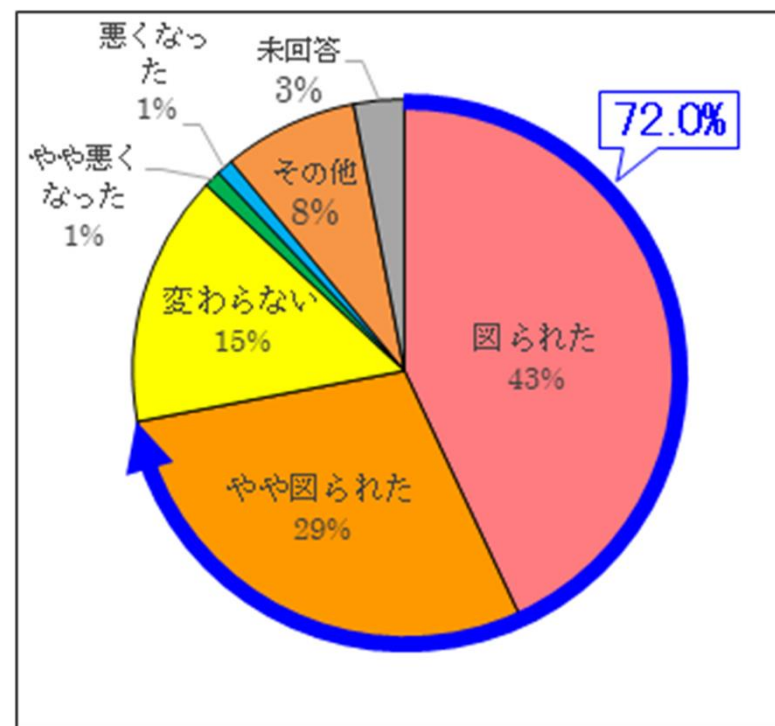
- アンケート「⑤買い物や通勤通学等の日常生活の利便性、仕事の業務効率の向上」について、約8割の利用者が、買い物や通勤通学等、日常生活の利便性や仕事の効率が向上したと回答。
- アンケート「⑥騒音や振動の抑制、沿道の環境改善」について、約7割の利用者が、沿道の生活環境が改善したと回答。
- 拡幅整備と地中化により、開放的な道路空間となり、防犯機能が向上したとの意見も得られた。

利用者アンケート結果

⑤「買い物や通勤通学等の日常生活の利便性、仕事の業務効率の向上」



⑥「騒音や振動の抑制、沿道の環境改善」



(5) アンケート自由意見

- ◇自転車と歩行者の通行空間が整備され、通行の安全性と快適性が向上した。
- ◇電柱がなくなり、歩道と車道の段差も少なく、安全に通行できるようになった。
- ◇道路が広くなり、電線などが地中化されたことで、明るく見通しが良くなった。
- ◇交通面でだけでなく、防犯面でも安心して通れる道路になった。
- ◇駅前広場や学校、周辺道路などと一体で整備され、景観もよくなり、誇らしい街になった。
- ◇道路が広がるだけでなく周辺が整備されたことで、人の往来が増えたように感じる。これからの街の発展が楽しみになった。

- ◆安全性、快適性、美観の全てにおいて向上したが、もっと早く事業を完了させて欲しい。
- ◆通行空間が確保されたことで、自転車が速度を出して通行するため、危険を感じる。
- ◆雨の日など雀宮駅への送迎が多く、駅前ロータリーが混雑し、県道まで影響している。

Ⅲ まとめ

(1) 今後の事後評価の必要性

- 整備後、自動車・歩行者・自転車交通量が増加した。（雀宮駅乗降客数が増加）
- 整備前と供用開始後を比較し、交通事故が減少した。
- 都市防災機能の強化と、都市景観の向上が図れた。
- 通勤通学等、日常生活の利便性向上による沿道の生活環境が改善が図れた。

⇒今後の事後評価の必要性はないと考えている。

(2) 改善措置の必要性

(アンケート調査の自由意見より)

- 車両等の走行性向上により、交通マナーが悪化したと感じる。
- 駅西口ロータリーの混雑が、本事業区間まで影響している。

⇒今後の道路利用状況を踏まえながら、地元住民や交通管理者、及び各事業主体と協議していく。

(3) 同種事業への反映

- 今回の事業については、県だけではなく、国や宇都宮市と同時期に事業を実施したことにより、交通結節点の機能強化及び交流拠点の整備に寄与することができた。

⇒今後も同種事業を実施する際には、地域住民や、各事業主体との連携を密にし、限られた予算の中で効率的に事業を進め、効果を早期発現できるように努めていく。